

動物とヒトのからだ(1) 演習プリント①

- (1) 胃液に含まれる消化酵素の名前を答えなさい。消化酵素を含まない場合は「ない」と答えなさい
- (2) すい液が食物にはたらき、消化を行う場所の名前を答えなさい
- (3) たん液に含まれる消化酵素の名前を答えなさい。消化酵素を含まない場合は「ない」と答えなさい
- (4) 筋肉や内臓などからだをつくる材料になる、肉や卵、大豆などに多く含まれる栄養素を何とよいか答えなさい
- (5) ウの器官の名前を答えなさい
- (6) 塩酸が含まれ、食べ物の殺菌をするとともに、タンパク質の消化を助ける消化液の名前を答えなさい
- (7) 草食動物の歯の特徴を答えなさい
- (8) ブドウ糖が小腸の柔毛で吸収される際に最初に入る管の名前を答えなさい
- (9) タンパク質が体内で消化されたあと、吸収されるときは何という物質になるか答えなさい
- (10) 小腸で吸収されたブドウ糖が肝臓に送られ蓄えられるときに、何という物質に変化するか答えなさい



動物とヒトのからだ(1) 演習プリント 解答①

(1) 答 ペプシン

解

説 胃液にはペプシンが含まれ、タンパク質を分解してペプトン(ポリペプチド)にする

(2) 答 十二指腸

解

説 すい液はすい臓で作られ、十二指腸ではたらく

(3) 答 ない

解

説 たん液には消化酵素は含まれず、脂肪を細かくすりつぶし消化しやすくする

(4) 答 タンパク質

解

説 筋肉や内臓などからだをつくる材料になる、肉や卵、大豆などに多く含まれる栄養素をタンパク質という

(5) 答 たんのう

解

説 ウは胆のうで、肝臓で作られたたん液を貯蔵する

(6) 答 胃液

解

説 胃液には塩酸が含まれ、食べ物の殺菌をするとともに、タンパク質の消化を助ける

(7) 答 草をすりつぶすための臼歯が発達している

解

説 草食動物の歯は草をかみちぎるための門歯と、草をすりつぶすための臼歯が発達している

(8) 答 毛細血管

解

説 ブドウ糖は柔毛から毛細血管を通して血管に入り、門脈を経由して肝臓に運ばれる

(9) 答 アミノ酸

解

説 タンパク質は胃液、すい液、腸液で分解され、ペプトンを経由してアミノ酸という物質に変化して吸収される

(10) 答 グリコーゲン

解

説 吸収されたブドウ糖は肝臓ではグリコーゲンになって貯蔵される



↑詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます

動物とヒトのからだ(1) 演習プリント②

(1) 消化酵素がはたらきやすくなる温度を答えなさい

(2) イの器官の名前を答えなさい



(3) 脂肪が最初に消化され別なものになる消化器官の名前を答えなさい

(4) タンパク質は、主に体内でどのように使われる栄養素か、正しいものを選びなさい
【ア.熱や力のもとになる イ.体を動かすエネルギー ウ.からだをつくる材料】

(5) モノグリセリドは何が消化されてできたものか答えなさい

(6) プチアリンが含まれる消化液の名前を答えなさい

(7) 小腸の柔毛から毛細血管に吸収される栄養素の名前を答えなさい

(8) 脂肪が体内で消化されたあと、吸収されるときは何という物質になるか答えなさい

(9) 小腸の柔毛からリンパ管に吸収される栄養素の名前を答えなさい

(10) デンプンを分解し糖にする消化酵素の名前を答えなさい

動物とヒトのからだ(1) 演習プリント 解答②

(1) 答 37℃~40℃(体温に近い温度)

解

説 体内ではたらく消化酵素は体温に近い温度ではたらきやすい

(2) 答 肝臓

解

説 イは肝臓で、たん液をつくりグリコーゲンを貯蔵するほか、様々な役割がある

(3) 答 十二指腸(小腸)

解

説 脂肪は小腸(十二指腸)まで送られてから腸液やすい液により消化される

(4) 答 ウ.からだをつくる材料

解

筋肉や内臓などからだをつくる材料になる、肉や卵、大豆などに多く含まれる栄養素をタンパク質という

(5) 答 脂肪

解

説 脂肪は体内で消化されて脂肪酸とモノグリセリドになる

(6) 答 だ液

解

説 だ液にはプチアリン(だ液アミラーゼ)が含まれ、デンプンを分解し糖にする

(7) 答 アミノ酸・ブドウ糖

解

説 ブドウ糖とアミノ酸は柔毛から毛細血管を通して血管に入り、門脈を經由して肝臓に運ばれる

(8) 答 脂肪酸とモノグリセリド

解

説 脂肪はたん液、すい液、腸液で分解され、脂肪酸とモノグリセリドという物質に変化して吸収される

(9) 答 脂肪酸・モノグリセリド

解

説 脂肪酸とモノグリセリドは柔毛からリンパ管を通して全身に運ばれる

(10) 答 アミラーゼ(プチアリン、アミロプシン)

解

説 アミラーゼ(プチアリン・アミロプシン)はデンプンを分解し糖にする



↑詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます